

ANARKISMO

特集・現代とアナキズム

- ☆ アナキズム理論の総括とその展望のために
..... 江原 健 人
- ☆ プロレタリアートの独裁と連合主義
..... 大 沢 正 道
- ☆ 幸徳秋水の「直接行動論」の今日的意味
..... 秋 山 清
- ☆ 「永 久 革 命」
..... 埴 谷 雄 高
- ☆ クロスタット —1921年—
..... ヴォーリン

18

日本アナキスト連盟

一九六一年五月一日発行・季刊・第一八号

一九六一年五月一日発行・アナキズム（季刊）第一八号

定価 八〇円（千八円）

社 争 論

狂信の創造者

スターリン

イサド・ベイ / 内山賢次著

浅田光輝解説 / 四六〇円

バクーニンの生涯

大沢正道著

B 6 / 三一〇円

バクーニンほど著名で、バクーニンは
どその生涯の知られていない人物はな
い。はじめて明らかにされた無政府主
義者バクーニンの生涯

東京都千代田区神田美土代町7 振替東京82087

秋山 清著

日本の反逆思想

—アナキズムとテロルの系譜—

新書判 / 一七〇円

大正・昭和初期の反逆に血ぬられた思想・
アナキズムのウイウイッドな鼓動を伝える

埴谷雄高著

虚 空

四六判 / 四三〇円

虚無と実存をその極限においてとらえた透

視の文学 / 限定版

東京都千代田区西神田二ノ一九
振替東京七二四四二

現代思潮社

編集 「アナキズム」編集委員会 大阪市東住吉区桑津町6ノ90(山口方)
発行 日本アナキスト連盟 東京都新宿区北山伏町33(大沢方)

① 改題に際して	「アナキズム」編集委員会 (1)
特集・現代とアナキズム	
② アナキズム理論の総括と その展望のために	江原健人 (2)
③ プロレタリアートの独裁 と連合主義	大沢正道 (18)
④ 幸徳秋水の「直接行動論」 の今日的意味	秋山清 (27)
⑤ 日本におけるバクーニン文献	T・E (32)
⑥ 「永久革命」	壇谷雄高 (33)
⑦ クロスタット	ヴォーリン 谷千香子訳 (35)
⑧ 新刊紹介「アナキズム」	エルバツヘル (46)
⑨ 編集後記	

改題に際して

われわれは一九五五年一二月から「ひろば」「無政府研究」と幾多の苦難の中を發展してきたこの雑誌を「アナキズム」と改題し更に一步、破壊と建設の炎熱の中に身を投じようとしている。そのために反強権主義、反国家主義的自由社会主義思想という統一戦線的な理論集団P・B・Kの会を発行を改め、その実質的な担い手であり、国家・権力・宗教・道徳等々あらゆる非人間的なものとの闘う日本アナキスト連盟の機関誌とすることにした。

一九六一年は解放の課程において重要な時期となっている。一九六〇年前半の安保斗争、後半の三池斗争を軸として展開した階級斗争の激化と労働者の必然的な敗北と、それに続く階級斗争の低迷は、あらゆる労働者政党と労働運動における官僚主義・権威主義の無力化を完全に暴露すると同時に、労働者が自己による自己の解放を自覚出来ない状況における驚愕すべき危機の接近を警告している。そしてそれはほかならぬアナキズムそのものへの危機の警告なのである。われわれアナキストのこのような自覚は単にこの時期への総括ではすまされない。アナキズムのすべてに對して今や総点検が開始されなければならないのである。われわれがこのような時期に「アナキズム」と改題するのは、この現実への燃え上った叛逆心によっているのだ。

われわれはわれわれの叛逆、破壊、解放、変革、革命の理論がギロチンよりも、飢えよりも強いことをわれわれの先覚者の歴史から、そしてなによりもわれわれ自身で知っている。だが理論は

日本アナキスト連盟機関紙

クロハタ

タブロイド判・20円
(半年 120円・1年 240円)

申込みは下記へ!

クロハタ編集局

東京都新宿区北山伏町33
振替東京 144722

真に革命的な労働者、農民
知識人、学生の新聞……
国内・国外の闘うアナキス
トの理論と実践を報道する

剣のように常に磨かれなければ錆びてしまう。ところがわれわれは今まで懐古的な諸論文を主として展開してしまつたので、その剣は鞘の中に入れられたまま錆びてしまつてしまつている。今われわれのこの転換期に際して、その剣を鞘から取り出し、錆びを落として権力者の抑圧という武器を貫ぬく一撃を与えなくてはならないのだ。「アナキズム」は懐古の鞘に入った剣を再び現実の斗争の中に取り出し、錆びという老朽した理論を否定して、あらゆる国家権力と権威主義に對して闘う剣である。

われわれはこの「アナキズム」を日本アナキスト連盟の理論斗争の武器として、資本主義と権威的官僚的社會主義擁護のあらゆる理論と闘っていくだろう。又、同時にわれわれ自身の内にあるこれら諸理論の反映とも闘って行くだろう。この闘いの中でアナキズムの炎の理論はこのあらゆる対象と自己における現実を固定するものを燃えつくして行かねばならないのだ。われわれは労働者自身による労働者解放の闘いと共に、意識における現実を固定する觀念に叛逆していくのだ。

「アナキズム」は労働者・農民・知識人・学生の叛逆者の斗争の武器として、常に君らと共に闘って行くことをここに誓う。
一九六一年五月

日本アナキスト連盟
「アナキズム」編集委員会